

1. 開催年月日 平成 26 年 3 月 14 日 (金) 13 時 30 分～15 時 30 分
2. 開催場所 岐阜県可児市広見七丁目 90 番地
株式会社ケーブルテレビ可児 多目的ホール B
3. 出席委員数 6 名 (欠席 2 名)
4. 事業者側出席数 4 名
5. 議 題 1. 新コーナーについて
2. 通常番組について
6. 審議内容

1. 新コーナーについて

次の番組コーナーを試聴し、審議した。

3 月 13 日 (木) 放送 「えりちゃんのバン格拉・ポチョンドコリ」
(毎週木曜日「サウンド HIT マン! くみちよう Live」内、17:00 頃～)

- ・現在はメールリポートだが、ぜひ現地からの音声で聴きたい。音声データを送ってもらい放送できないか。
- ・メールを読むパーソナリティは、発信者の感動を引き出すためにも下読みをしてほしい。
- ・バン格拉デシュの放送局と連携できないか。
- ・積極的な自分の考えを持っていて、ものの見方が大変興味深い。
- ・内容がとても長いので、肝心なことはそのまま次回は要約を。
- ・現場からの声はインパクトが強いのでぜひ音声を届けてほしい。今後が期待できるので、これからも手法を探りながら続けてほしい。

以上の意見が出された。

2. 通常番組について

通常放送番組について、自由意見を募った。

- ・FM ちらが浸透してきたという実感はある。これからも町の面白い人材探しを頑張ってほしい。地域の歴史を通して、街の変化を知らせてくれる人がいると嬉しい。
- ・はじめて「懐かしの昭和歌謡」を聞いたが、濃厚な昭和の雰囲気味わえて非常に良い。花ちゃんの昔話が上手でおもしろかった。
- ・ある番組でゲストがうっかり差別用語を使ったが、パーソナリティが巧みに、さりげなく他の言葉に言い換えており、さすがの対応だと思った。様々な人が番組へ出演するようになれば今後もありうることなので、こうした余裕や冷静さが必要である。
- ・「おはよう可児市役所」の被災地派遣職員のレポート紹介がとても良かった。FM ちらの使命は防災なので、ときどき被災体験等の紹介があると市民の防災意識も高まるのではないか。

以上の意見が出された。